

評価結果概要表

【評価実施概要】 作成日 平成20年11月9日

事業所番号	2771400914	評価機関名	特定非営利活動法人
法人名	医療法人 神明会		近畿マネジメント・サポート・センター
事業所名	グループホーム ラ・アケソニア	所在地	大阪市東住吉区山坂5丁目5番14-103号
所在地	大阪府箕面市白島1丁目19番3号 (電話)072-727-2186	評価調査日	平成 20 年 10 月 31 日
		評価確定日	平成 20 年 11 月 11 日

【情報提供票より】 (平成20年10月16日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年2月1日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数 9人
職員数	8人 常勤 6人 非常勤 2人 常勤換算 7.2人

(2) 建物概要

建物の	鉄筋コンクリート造り
構造	3階建ての 1階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	127,000円	その他の経費 (月額)	12,600円	
敷金	無			
保証金の有無	有 950,000円	償却	有 下記	
(入居一時金を含む)	5年目まで年9万円償却	修理費等控除	残返金	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,500円	

(4) 利用者の概要 (10月16日現在)

利用者人数	9名	男性	2名	女性	7名
要介護1	1名	要介護2	4名		
要介護3	3名	要介護4	1名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢 平均	85才	最低	74才	最高	91才

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	印どう メディカル クリニック
---------	-----------------

【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

ホームは常勤職員が6名で少数ながら努力しており、経験を重ねた管理者と看護師の指導により温かな気付き介護を行っている。利用者は開設当初からの方も含めて、ゆったりと安定した生活を送っておられる。しかし、職員数が6名で、かなり負担が掛かっているため、介護レベルの安定した継続のためにも職員の就業条件を改善して退職者を減少させ、継続して勤務できる体制が必要である

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、 法人の基本理念である事業所の理念は「質の向上」とし、また、ホームは「介護技術の向上」として入口付近にも掲示し、職員会合でも確認し合っている。運営推進会議、地域組織との関係も地道ながら進めつつある。利用者の重度化への対応は、事業所としての指針を定めている。しかし、職員の内外の研修への取り組みについては、不十分なので改善を要します
	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4) 事業所としての自己評価を年2回行い、それを参考として管理者は職員の指導を実施している。今回の評価に当たっては管理者が下書きし、その後、職員との話し合いにより作成された。職員による利用者の気付き記録は、個人毎に把握されていたが、途切れている部分もあり、継続への体制作りをして欲しい
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み(関連項目: 外部4. 5. 6) 2ヶ月毎に開催し、地元の方々、ご家族の方々との話し合いが行われている。会議を通して、ご意見や情報を交流することが出来、介護向上に繋がりがつつある
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7. 8) ご家族のご意見は、運営推進会議や支払いに来訪された際にも話し合いが出来ており、最近の症状の説明と、今後についても相談している。介護職員の入、退職者が多いので、利用者やご家族からも不安の声が出ており、早急に改善を図って欲しい
重点項目④	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3) ホーム開設後まだ3年ですが、地域の方々との交流は運営推進会議等によって徐々に進みつつあり、管理者は少しでも改善を図りたいと努力している

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
1 理念と共有					
	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人理念…… (1)愛(人間愛)を原点に行動します (2)その人の気持ちになって行動します (3) 奉仕の精神をもって行動します グループホーム理念……(技術の向上)		
	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、掲示している理念の基に介護に当たっている		
2 地域との支えあい					
	3	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	管理者は、運営推進会議によって地域の自治会長や民生委員との交流を行っている	○	地元の方々との交流は年月をかけて日常の挨拶から始め、徐々に、深めていって欲しい
3 理念を実践するための制度の理解と活用					
	4	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、職員は評価の意義を理解し、介護技術の向上に取り組んでいる		
	5	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	2ヶ月毎に開催し、地区自治会の会長や、民生委員に加え、ご家族の方々との情報交換、ご意見等をお伺いして、介護向上に活かすようにしている		
	6	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者や運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市役所からの調査書等については回答して情報を頂いている		
4 理念を実践するための体制					
	7	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている	来訪された時に詳しくお話しをさせていただいている。又、特変時には、その都度、電話連絡を行っている		
	8	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族からのご意見や苦情には、すぐに対応している。運営推進会議にも代表の方のご意見を伺って介護に活かしている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
9	18	<p>○ 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	離職する職員が多く、ご家族からも不安の声がある	○	職員の頻繁な入退職は利用者、ご家族に不安感を与えているので、早急に、企業努力で改善を図って欲しい

5 人材の育成と支援

10	19	<p>○ 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	施設内での研修は、引続き職員は受けているが、新入職員のレベルアップについては、実施するまでには在職していない	○	介護の原点は職員の知識と技能の向上にあるので、何よりも職員の勤続年数を延ばすことに配慮し、日常の研修にも取り組んで欲しい
11	20	<p>○ 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている</p>	地域の同業者との交流は、まだ出来ていない		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

12	26	<p>○ 馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	早く皆と馴染まれるように、職員は声掛けで、会話が普通に見えるよう配慮している		
----	----	---	--	--	--

2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

13	27	<p>○ 本人と共に過ごし、支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	利用者本人から、人生を振り返って、今までの経験されたこと等を聞き取り、また教訓とさせて頂いている		
----	----	---	--	--	--

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1 一人ひとりの把握

14	33	<p>○ 思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	聞き取りに、温かな配慮と気付きで、意向を言葉や表情から汲みとっている	○	利用者の日々のケア記録が途切れないうよう配慮して、職員間の情報共有化に活かして欲しい
----	----	--	------------------------------------	---	--

2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

15	36	<p>○ チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	カンファレンスによって、利用者、ご家族、職員と共通の認識の上で、現状に即した計画作成を行っている		
----	----	---	--	--	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	職員のモニタリングから始めて、ご家族、医師とも協議し、新たな計画作成を行っている		
3 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人、ご家族の希望に応じて柔軟な支援を行っている		
4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している	利用者、ご家族の意向で掛かり付けの医師への受診をしてもらい、週一度の精神科の医師の往診もしてもらっている		
19	47	○ 重度化や週末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期については、医師と、ご家族との話し合いで決めている		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1 その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりへの言葉掛けや対応に職員は配慮している。また、個人情報の漏洩についても配慮している		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	無理強いせず、利用者のペースに合わせた生活を送っていただいている		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	施設内の厨房での配食を行っている。月二回、ホーム内で昼食を作って楽しんでいただいている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	23	57	<p>○ 入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		

(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

	24	59	<p>○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		
	25	61	<p>○ 日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している</p>		

(4) 安心と安全を支える支援

	26	66	<p>○ 鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		
	27	71	<p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		

(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

	28	77	<p>○ 栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		
--	----	----	---	--	--

2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

(1) 居心地のよい環境づくり

	29	81	<p>○ 居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
	30	83	<p>○ 居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		